

第27次消防審議会（第7回）の開催

総務課

平成27年8月31日（月）に、第27次消防審議会（消防庁長官の諮問機関。会長・室崎益輝神戸大学名誉教授）の第7回会議を開催しました。

開会に当たり、佐々木敦朗消防庁長官から、次のとおり挨拶がありました。

第27次消防審議会第7回会議 消防庁長官挨拶



今ご紹介いただきました消防庁長官に就任いたしました佐々木でございます。皆様方におかれましては、消防審議会の審議に関しまして、以前から大変ご協力をいただいているところで、ありがとうございます。また、日ごろから消防防災行政の推進にもご支援、ご協力をいただいておりますこと、改めて御礼を申し上げます。

近年我が国の災害は、多様化している状況でございます。この1年を振り返りましても、広島市で土砂災害、御嶽山で噴火災害、そして、長野北部で地震、また口永良部島で噴火が起きるといったことで、この1年に4回の緊急消防援助隊の派遣をしたという状況でございます。今年も台風が次々やってきており、ま

だまだ台風シーズンも続いておりまして、これに備えることも大変必要になっているところでございます。

こういった災害におきまして、消防職員はもちろんのことでございますけれども、地域で活躍いただいている消防団の方々、懸命な活動に従事していただいているところでございます。私どもとして、消防団をはじめとする地域の防災力の必要性を改めて強く感じているところでございます。

この第27次消防審議会におきまして、昨年7月に消防団を中核とした地域防災力の充実・強化のあり方について取りまとめていただき、消防庁といたしましても、消防団の装備の基準の改正を行い、また、救助活動用資機材、安全用装備などの予算確保、あるいは地方交付税措置といったことにも取り組んできたところでございます。

今後も、近年の大規模化、複雑化、多様化する災害、あるいは事故におきまして、国民の生命、身体、財産を守るために、常備消防をはじめとする関係機関、自主防災組織など地域の防災力の担い手との役割分担、連携を図る必要があると考えております。

第27次消防審議会におきまして、引き続き皆様方の忌憚のないご意見を賜りまして、私どももしっかりと今後の政策に反映させてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、皆様方の今後ますますのお力添えをお願い申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

消防庁長官 佐々木 敦朗

今回の会議においては、まず、「地域における防災に関する学習の推進」について、消防審議会委員の片田委員（群馬大学大学院理工学府教授）からこれまでの取組等を発表いただき、その後、地域の取組の事例として、東京消防庁から説明をいただきました。



これらの説明の後、委員間での意見交換が行われました。委員からは、地域コミュニティと防災教育との関わりの重要性や楽しく飽きさせない工夫の必要性など幅広い御意見が出されました。



次に、「答申のとりまとめ」について、消防庁から説明を行いました。

その後、委員間で意見交換が行われ、答申の取りまとめの方向性について御意見が出され、消防庁から説明があった案を更に深めていくこととされました。

次回第8回会議は、年内の開催を予定しており、答申の内容についての具体的な議論を行う予定です。

なお、消防審議会の配布資料議事録は、消防庁ホームページ（http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/shingi.html）に掲載しています。

【議事次第】

- 1 開 会
- 2 消防庁長官挨拶
- 3 議 題
 - (1) 地域における防災に関する学習の推進について
 - (2) 答申のとりまとめについて
- 4 閉 会

問い合わせ先

消防庁総務課 圓増、高橋、山田
TEL: 03-5253-7506